

松山フライブルク会会報



MATSUYAMA FREIBURG



2025年4月

マーティン ホーン市長が松山市を公式訪問 交流会にて

編集・発行 松山フライブルク会

2026年

会長挨拶

松山フライブルク会会長 栗原 久子

日頃は、フライブルク会に対し、ご支援・ご協力を賜っておりますこと心から御礼を申し上げます。

フライブルク市との交流は2026年で65年の長きに亘り、経済界大学関係者・市民同士の相互交流・中学生派遣等活発な活動が続いております。皆様すでにご存じの事と存じの通り、当市は先駆的に環境先進都市として住民参加型の政策等に精通しており、松山市のみならず世界が見習うべきことが沢山あります。

今後とも素晴らしいフライブルグ市との交流を続けていきたいものです。

私事ですが、2009年姉妹都市提携20周年記念に当時の松山市議会の訪問団としてフライブルク市へ訪問、歴史的由緒ある場所「歴史的商館」での記念式典に参加致しました。その時に、SCフライブルクと愛媛FCとの友好調印がなされ、現在もスポーツ振興にも共に交流が深まり選手の人的交流も深まっている事も伺っております。

更に昨年、フライブルク市からの訪問団の皆様の中にも、サッカー関係者の方もおり、愛媛FCの試合をニンジニアスタジアムで観戦されました。誠に喜ばしい交流だと思います。

また、2019年フライブルクとの提携30周年には、松山フライブルク会前会長を含め訪問団として、記念式典・歴史ある街並みの現地視察・記念植樹等に参加をさせて頂き交流も深めて参りました。

その後数年の交流については、コロナ禍の影響もあり、なかなか訪問の機会もままならぬ状況にありました。

現在も、イランと周辺国の不安定状況や円安等を鑑みますと、なかなか交流訪問もハードルが高いようですが、期をみて訪れてみたいものです。



2019年 姉妹都市提携30周年記念
フライブルク訪問時

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 メラニー・ザクシンガー総領事松山ご来訪

松山フライブルク会副会長 大門 勝



2025年11月14日（金）、大阪・神戸ドイツ連邦共和国のメラニー・ザクシンガー総領事が中村愛媛県知事を表敬訪問されるため、松山市を訪問されました。これに先立ち、松山フライブルク会との面談・食事が設けられ、栗原会長と大門が対応いたしました。タイムスケジュールや準備については、事務局の担当者および総領事に同行された領事館職員スン・クワンヘ氏により綿密な打ち合わせが行われました。

当日は、面談会場ロビーにて会長と待ち合わせを行い、松山フライブルク会の紹介資料およびお土産を持参しました。打ち合わせ中、ロビーにいらした二人のご婦人が本日の面談相手であることが分かり、挨拶と名刺交換を行いました。通訳および紹介は、事務局の担当者が務めました。

予定時刻より少し早めに面談会場へ移動し、まず栗原会長より来松歓迎の挨拶を行い、続いて総領事より面談の機会への謝意が述べられました。その後、双方で情報交換を行いました。

松山フライブルク会からは、事務局が準備した会報誌等をもとに、これまでの歴史や事業内容について説明し、さらに個人的な交流のエピソードも紹介しました。総領事は大変親しみやすいお人柄で、領事館職員スン・クワンヘ氏の通訳を通じて、和やかな雰囲気の中で会話が弾みました。総領事は、松山フライブルク会の活発な交流活動に大変感銘を受けられたご様子でした。

また総領事より、これまで領事館主催の日本各地でのイベントへの参加経験について質問があり、未参加であったことに対しては今後の参加を検討したいと感じました。

さらに話題は四国遍路にも及び、総領事は八十八ヶ所巡りに強い関心を示されました。伊予における「お接待」や「おもてなし」の文化について説明し、今回の面談・食事会についても総領事のご配慮で設定いただいたものでしたが、「お接待」の意味を込めて当方で費用を負担させていただく旨をご了解いただきました。

最後に、事務局が準備したお土産を栗原会長より説明を添えて手渡し、今後のさらなる交流の深化を約束し、面談は和やかに終了しました。その後、県庁玄関までお見送りし、お別れいたしました。今回の面談は、大変意義深いものとなりました。

フライブルク市代表団松山市ご来訪

松山フライブルク会副会長兼事務局長 中岡 富茂

2025年4月11日（金）から13日（日）にかけて、ドイツ・フライブルク市より、マーティン・ホーン市長をはじめとする17名の訪問団が松山市を訪れました。

滞在中は、野志克仁松山市長への表敬訪問をはじめ、道後温泉や二之丸史跡庭園の視察、「まつやまRe・再来館（りっくる）」やJR松山駅の見学など、環境先進都市としての取り組みを共有する交流が行われました。また、ニンジニアスタジアムでは愛媛FCの試合観戦も楽しまれるなど、大変充実した日程となりました。

そのようなご多忙なスケジュールの中、4月12日（土）には、私たち松山フライブルク会との交流の時間を設けていただきました。

松山フライブルク会が選んだ懇親会場は、日本最古の温泉ともいわれる道後温泉。なんとあの有名な聖徳太子も訪れた記録も残っているそうです。その中でも歴史と格式を誇る「道後温泉ふなや」にて、フライブルク市訪問団計18名と当会関係者25名が一堂に会し、和やかな懇親のひとときを過ごしました。

当日は、外国からのお客様にもゆったりとお食事を楽しんでいただけるよう、畳の部屋にテーブルと椅子を配置し、日本画や書をしつらえた和の空間でお迎えしました。また、栗原会長をはじめとする会員が和服姿で会場は一層華やかな雰囲気になりました。

メインイベントは、ドイツからの女性参加者による浴衣の試着体験でした。はじめは落ち着いた雰囲気でお食事を楽しんでいた皆様も、浴衣に袖を通すと笑顔があふれ、会場は一気に賑やかに。通路を“ランウェイ”に見立てて歩いたり、舞台上がってポーズしたり。男性陣は名カメラマンに変身していました。さらに、大門副会長からは、訪問団お一人おひとりの「名前入りお箸」が贈られ、心のこもった粋なプレゼントとして大変喜ばれました。

世界各地で緊張や対立が見られる今だからこそ、このような市民レベルでの交流の積み重ねが、相互理解を深め、平和な未来へとつながる大切な一歩であると感じています。今後もこうした交流を大切にしながら、両市の友好関係をさらに育んでいきたいと思います。



Welcome to Matsuyama



ドイツ料理を楽しむ会

花山 早苗

当会恒例の人気行事「ドイツ料理を楽しむ会」は、今年も河原外語観光・製菓専門学校のウルリヒ・エンゲルハート先生、杉沢多美子先生ご夫妻を講師にお迎えし、9月21日に開催されました。参加者は会員11名、一般17名で、男性も数名参加され賑わいました。今回は今まで開催されていない季節を検討して9月となりました。

栗原会長の挨拶に続き、先生の紹介がありました。逸る気持ちを抑えつつ料理作りに先立ち、ドイツについて説明に聞き入り知識を深めることとなりました。地理的な位置、有名人、食事・料理、学校制度などです。今回はこの時期にドイツ南部の大都市ミュンヘンで開催される有名なビール祭り、『オクトーバーフェスト』についても教えていただき、テーブルセッティングもオクトーバーフェストをイメージして用意してくださっていました。一度は行ってみたいと思っている方も多いのではないのでしょうか。

大きなテント内でバンドの音楽演奏があり隣同士となった見知らぬ人とも打ち解けてビールジョッキを打ち鳴らす。外では遊園地のように大観覧車や大型滑り台等、遊具もたくさんあり楽しく賑わっていました。以前に友達と訪れた時のことを思い出しながら説明を受けていました。

そしていよいよ料理について、今回はドイツやオーストリアで食べられている『カイザーシュマーレン』というデザート菓子です。エンゲルハート先生がお手本を見せてくれるので先生の手元に皆の目が集中です。そして杉沢先生が説明をしてくれます。材料は手に入りやすいもので、小麦粉、砂糖、卵、牛乳、バターです。材料を混ぜて焼き、フライパンの中でフライパン返しやターナーなどで小さくカットして仕上げるというお菓子です。イメージとしてパンケーキを小さくカットしたという感じで簡単そうに見えました。

6班に分かれて作るのですが、先生が前もって材料の分量を分けておくなど下準備をしてくださっており、殆ど材料を合わせて焼くだけでしたが、火加減などには気を使わなければなりませんでした。調理室には甘い香りが充満していました。

そろそろ各班とも焼きあがる頃、先生が用意されたたくさんのお菓子を皆でテーブルに並べていきます。今回オクトーバーフェスト仕様でソーセージ2種、ドイツパン、プレッツェル、ザワークラウト、そしてノンアルコールビールまで用意してくださっていました。本当に感謝です。

乾杯はもちろんオクトーバーフェストのあの乾杯の歌『Ein Prosit』です。「・・・ Oans,zwoa,drei,g'suffa! Prost!」の音頭で乾杯をして、先ずはカイザーシュマーレンからいただきました。自分たちが作ったものです、美味しいはずですが、たくさんいただきお腹もいっぱいでした。またドイツのいろいろな話題に話が弾み、あっという間の時間でした。各テーブルも話は尽きないようでした。

今回のカイザーシュマーレンは、手軽に作れるのでその後作ってみました。添えるジャムを2種用意して味変で美味しくいただくこともできました。教わった料理は覚えているうちに作って自分のレシピに加えることがいいですね。毎回、「ドイツ料理の会」は楽しみです。



Oktoberfest

Kaiserschmarrn 作り方

- ① 卵を白身と黄身にわける。
- ② 黄身に1/3の砂糖を加え、さらに泡立てる
- ③ 残りの砂糖を、数回に分けて、白身の中に入れ泡立てる。
- ④ 泡立てた、黄身と白身を合わせ一つのボールに入れる。
- ⑤ 振った小麦粉を入れ、さっくりと混ぜ合わせる。
- ⑥ フライパンで、パンケーキのように焼く。
- ⑦ パンケーキを刻み、粉砂糖をふるい、表面をキャラメルっぽく火を加える。
- ⑧ プラムムースなどを添える。

※ ドイツでは、ラム酒に漬けたレーズンなどを生地に入れます。
今日は、ドイツのデザート、Rotegrutze ローテグリュツエを添えました！



ワインを楽しむ会を運営して

松山フライブルク会副会長 山澤 満

2026/1/17 (土) ネストホテル松山にて「ワインを楽しむ会」が開催されました。年始の恒例事業ということで和装にて参加される方も多く華やかな会になりました。参加者数は27名、いつも多くの方にご参加いただき有難うございます。また会員が一般の方を誘っていただけることもあり、当会の知名度向上にも一役買っているのではと思っております。

ワインについては昨年の反省もあり、すべて皆さんの円卓に配置することとしました。試飲会スタイルでワインを一か所に固めると都度皆さんに取りに行っていたいただくことになり、せっかくの会話が楽しめないのではないかと変更に至りました。結果昨年よりは種類は減りましたが、赤白各2本の計4本を各8名卓で飲んでいただきました。白はブドウ品種としては「ゲヴェルツトラミネール」「ミュラー・トゥルガウ」を飲み比べていただきました。赤は辛口の「シュペートブルグンダー」とやや甘口の「ドルンフェルダー」の飲み比べをしていただきました。お料理との相性でそれぞれの個性があり、円卓を囲んだ方たちが感想を言い合いながら和気あいあいと盛り上がるのは主催側としてとてもうれしく思います。

ワインの予算について次年度はもう少し拡充できないかと考えております。昨今の物価高で輸入ワインの価格も上がる一方で悩ましいところですが、皆さんの満足のためにどのような工夫ができるのか検討してまいります。

尚、今年は大門副会長がご欠席でしたのでスペシャルなワインのお披露目は無かったのですが、来年は是非ご出席の程よろしく願いいたします。

最後になりましたが、皆さんが楽しまれている間献身的にフォローをしてくださった事務局のご担当者さまに感謝申し上げます。



ロバート ヴァイル ジュニア
シュペートブルグンダー



生産地 ラインヘッセン
ブドウ品種 シュペートブルグ
ンダー 100%

食事によく合う辛口タイプのド
イツワインです。ラズベリーと
赤いチェリーと小さなバラの香
り。ひんやりとした果実感。軽
やかな酸味と、程よいタンニン
の赤ワインです。

ブルガマイスター ヴェーバー ディーン
ハイマー・シュロス ドルンフェルダー



生産地 ラインヘッセン
ブドウ品種 ドルンフェルダー
100%

タンニンの刺激はあまり相性
が良くありません。目の奥や
舌の奥に広がる酸味は、その
酸味と果実のバランスが、飲
み進むにつれて、酸味がほろ
ろと消え、果実の味が引き出
されてきます。

ジョセフ・ドラーテン
ゲヴェルツトラミネール カビネット



生産地 ラインヘッセン
ブドウ品種 ゲヴェルツトラ
ミネール 100%

ライチのようなアロマティッ
クな香り特徴であるゲヴェルツ
トラミネール種からつくられる
半甘口ワイン。

オッペンハイマー クレーテンブルネン

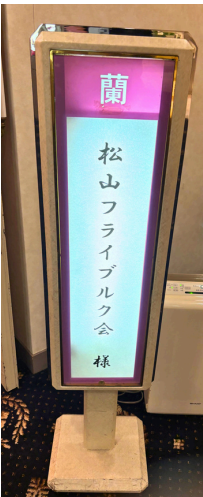
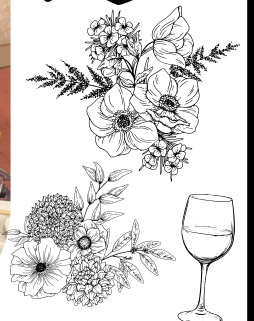


生産地 ラインヘッセン
ブドウ品種 ミュラー・トゥル
ガウ 100%

クリアで鮮やかな中位の濃さの
レモン色で、酸は少なめで、ほ
ろろとした酸味が、飲み進む
につれて、酸味がほろろと消
え、果実の味が引き出されて
きます。



素敵なお花を
ありがとうございました



アンナさんを囲む会に参加して

伊達 栄治

2025年8月11日(月・祝) 14:00~15:00 コムズ会議室で「アンナさんを囲む会」が開催されました。外は生憎の雨でしたが、にこやかな表情で「こんにちは」とアンナさんが迎えてくれますと雰囲気は晴れやかになります。流暢な日本語での自己紹介からスタートして8名の参加者がそれぞれ後に続きました。

アンナさんは、松山大学の交換留学生として2024年9月に来松し2025年8月まで滞在しました。専攻は人文学部社会学科です。フライブルクに戻られたら大学でメディア文化を専攻するそうです。ドイツとハンガリーの国籍を持ち、ドイツ語、英語、ハンガリー語、日本語が堪能です。凄いですね！

そして、スクリーンとパワーポイントを使用してフライブルクの街や食べ物などについて丁寧に説明して頂きました。人口23万人の内大学生は約25,000人と若い人が多い街です。森がドイツで4番目に多く、夏は暑くなくて過ごしやすのが特徴です。羨ましい！

スクリーンでミュンスター(大聖堂)、ミュンスター広場、黒い森などを見ると鮮明な映像を通してフライブルクにプチ旅行しているかのようです。また、クリスマスが終わると、2月頃に仮面や衣装をつけて「ナリー」「ナロー」の掛け声が飛び交う中、市内を練り歩くカーニバル(Freiburger Fasnet)があり見ていてとても楽しいと語っていました。

松山のお気に入りには梅津寺公園、坊ちゃん列車、三津浜、道後公園そして2014年に姉妹都市提携25周年記念に植樹されたフユナラの木が育つ松山総合公園です。そこからの眺望は素晴らしいので納得です。好きな食べ物は鯛めしだそうです。郷土料理の味が懐かしくなったらまた愛媛・松山に来てください！

少しだけ聞いたのですが、日本のアニメファンだそうです。また、幼少期にバイオリン奏者である祖父(ハンガリーの楽団員)が奏でる「金と銀」をいつも聴いて育ったのでハンガリー出身の作曲家フランツ・レハールも好きだと話しておられました。松山に住んでいてまさかのドイツ語で話しかけてくれた事はとても嬉しいとも言ってくれました。Ich auch!

アンナさんの視点から見たフライブルクと松山の印象は実に興味深かったです。いつか再び交流ができる日を期待しています！



フライブルク・松山日独協会 ご来松

フライブルク・松山日独協会
第一会長 ヒンシュ・アーサー

10月末、日本を3ヶ月かけて旅する中で松山を訪れることができ、妻と私は大変嬉しく思いました。鉄道で日本全国を巡る旅の一環として、尾道から今治へ渡り、松山へと向かいました。松山は私にとって二度目の訪問となり、フライブルクの姉妹都市を訪れることは日本旅行のハイライトの一つでした。

旅の途中では可能な限り多くの温泉を訪れるよう心がけていたので、当然ながら道後温泉に真っ先に浸かりました。何世紀にもわたり、そしてこれからもずっと、道後温泉の湯が訪れる人々を癒し続けるという事実に、ただただ畏敬の念を覚えます。

松山フライブルク会の皆様との出会いは特に印象深く、道後温泉近くでシュラインさん、大門さん、中岡さんと過ごした素敵な夜に感謝しています。本物の芸妓である佐喜知さんに接待していただき、この上ない光栄でした。彼女の優雅なもてなしに心から感銘を受けました。良き仲間とのこの夜（そして素晴らしい料理）は、長く記憶に残ることでしょう。松山フライブルク会の皆様にはぜひフライブルクへお越しいただきたいと心から思っております。

5月3日、当協会では恒例の日本の春の祭り「こどもの日」を開催いたします。この大変人気の高いイベントは、フライブルクの市民の皆様にも松山についてご紹介し、旅行者の皆様にも松山を旅程に加えていただく絶好の機会となっております。また、松山国際交流センター様よりご提供いただいた美しい着物を着用する素晴らしい機会にもなります。

フライブルクでの皆様のお迎えを心よりお待ちしております。

フライブルク・松山日独協会
取締役 山崎 瑛司

私、山崎はフライブルクに約8年ほど在住、2025年よりフライブルク・松山日独協会の役員として活動しております。今回、ヒンシュと同じ時期に別の友人との日本旅行中、松山に立ち寄りました。私自身それまで四国を訪れた事がなく、今回の訪問をとっても楽しみにしていました。フライブルクの姉妹都市として縁の深い松山の町は、初めてなのになぜか懐かしく感じるような、不思議なつながりを感じました。

松山フライブルク会の皆様との食事ではお茶屋さんにておもてなしを頂き、忘れられない時間を過ごせました。日独協会を通じてまさか日本の伝統文化を学べるとは。まさに歴史ある松山の街にふさわしい、素晴らしい体験をさせて頂きました。松山の皆様もフライブルク訪問の際にはぜひお声がけください。ありがとうございました。



事務局からのお知らせ

会費について

平素より当会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当会の活動は、会員の皆さまに納めていただく年会費と事業ごとに設けている参加費収入で支えられておりますが、令和7年度総会(6月8日開催)において今後について話し合いが行われ、以下のように決定いたしましたので再度ご連絡申し上げます。

会則第15条「会費」に関する取り扱いについて

- ・年会費(2,000円)を3年以上続けて納入のない方は、自動的に退会処分とする
- ・総会での決定後、令和7年度7月16日付文書にて会員にお知らせした上、令和8年度から、この取扱いを実施する。

(令和8年4月現在で、過去3年間会費納入のない方は自動退会)

今後とも、当会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

松山フライブルク会 事務局より

いつも松山フライブルク会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、向井より引継ぎ、事務局を担当することになりましたシュラインと申します。フライブルク市を身近に感じ、交流を通して楽しいものになるよう、微力ながらお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

また、皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。今後の活動やイベント運営の参考にさせていただきますので、ぜひお気軽にお寄せください。

松山フライブルク会 事務局
(まつやま国際交流センター内)

〒790-0003 松山市三番町6丁目4-20

☎ : (089)943-2025

✉ : freiburgkai@yahoo.co.jp

HP : <https://www.matsuyama-freiburg.com>

松山フライブルク会のホームページは
こちらからもご確認いただけます。

